



Overseas Fishery Cooperation Foundation of Japan

評価報告書

パプアニューギニア独立国

— 2016年度 地域巡回機能回復等支援事業—
(終了時評価—2017年4月)

事業概要

国名	パプアニューギニア独立国
プロジェクト名	2016年度FDAPIN VIプロジェクト
実施期間	2016年7月8日～2017年3月31日
相手国政府覚書署名省庁名及び実施機関	覚書署名省庁：水産公社（以下NFA：National Fisheries Authority） 実施機関：NFA及びモロベ州漁業局

プロジェクト実施の経緯と背景

パプアニューギニア独立国（以下「パプアニューギニア」という。）NFAは、「事業計画書(NFA Corporation Plan 2014-2018)」において、沿岸漁業の開発による経済強化、市場へのアクセスや輸送手段の確保等を通じた小規模漁業の持続的な発展を重要な施策の一つとしている。

これらの開発戦略の下、NFAは、各種の漁業振興計画を実施しているが、同国の水産関連施設は老朽化に伴う故障や運営管理の不備により一部の施設は本来の機能を発揮することが出来ず、漁業振興計画の推進に大きな支障をきたしている。

このため、NFAは、公益財団法人海外漁業協力財団（以下「財団」という。）に対し、水産関連施設等の修理・修復及び現地技術者への技術移転並びに関連組織への指導・助言についての要請を行った。



財団は、我が国とパプアニューギニアとの漁業関係の重要性を踏まえ、同国政府の漁業振興策を支援するため、本プロジェクトを実施した。

目 標 ・ 成 果 ・ 活 動 内 容 等

上位目標	パプアニューギニアにおいて漁業の生産性が向上し、小規模漁業が発展する
プロジェクト目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. モロベ州における水産関連施設の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術の向上 2. 国立水産学校（NFC：National Fisheries College）における教育用水産関連施設の維持・管理に係る技術の向上
成 果	<ol style="list-style-type: none"> 1. モロベ州漁業局施設の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。 2. NFC の教育用製氷機 2 機等の運転、保守点検に係る助言をカウンターパートに対し行うことで、当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。
活 動	<ol style="list-style-type: none"> 1. モロベ州漁業局施設の修理・修復及び技術指導 モロベ州漁業局施設を修理・修復し、カウンターパートに対し修理・修復に係る技術指導を行う。 2. NFC 教育用製氷施設の維持・管理に関する技術指導 NFC のカウンターパートに対し、教育用製氷機の維持・管理に関する技術指導を行う。
投 入	<p>財団側</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門家： 〔巡回指導〕 チームリーダー兼漁業普及 1 名 冷凍機器技術者 1 名 計画：2017 年 1 月中旬～2 月上旬（約 26 日間） 実績：第 1 回 2017 年 1 月 21 日～2 月 1 日（12 日間） 第 2 回 2017 年 3 月 4 日～3 月 25 日（22 日間） 延日間 計画：（52 人・日） 実績：（68 人・日）（計画対比：131%） ・ 主な資機材： 製氷機、冷凍庫、急速凍結庫等関連資機材一式 ・ 事業費： 予算額 22,989 千円 実績額 24,914 千円（予算対比：約 108%） <p>相手国側</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主なカウンターパート： (1)モロベ州漁業局施設の修理・修復及び技術指導

	<p>NFA Project Officer 1名 Engineer, NFC 1名 Operator 1名 (2017年3月7日～3月22日)</p> <p>(2)NFC 製氷施設の運転管理に関する助言 Engineer, NFC 1名 Assistant Engineer, NFC 1名 (2017年1月23日)</p> <p>・プロジェクト関連予算、土地、施設等： 製氷施設等技術移転に必要な施設やNFCワークショップ提供、州政府水産関連事務所等における電気、水道及び電話の無償提供、モロベ州魚市場の建設等</p>
--	---

評価事項

◆ 妥当性

1. 対象国政府の水産振興政策との整合性

本プロジェクトは、パプアニューギニア政府が策定した漁業開発政策に基づくNFAの事業計画に合致しており、妥当と判断される。

2. 協力ニーズ(対象国、対象地域)との整合性

パプアニューギニア政府から、水産関連施設の修理・修復及び現地技術者への技術移転並びに関連組織への指導・助言を要請されており、事前調査においてモロベ州漁業施設の修理・修復及び技術指導並びにNFC教育用製氷施設の運転管理に関する助言に対する協力ニーズが高いことが確認されている。また、モロベ州魚市場に氷の供給を依存している周辺の漁業者は500名以上(50～100隻程度)を数え、当該施設の機能回復に裨益する周辺住民は多く(ラエ市住民は約20万人)、協力ニーズとの整合性は高い。

3. 環境に対する配慮はなされていたか

本プロジェクトでは、直接環境に影響を与える活動はなく、冷媒、廃棄部品等の取扱いについては、適切に行うなど、常に環境保全に配慮している。

4. 水産資源に対する配慮はなされていたか

本プロジェクトは、水産関連施設の機能回復を図り、その管理・運営に対する助言を行うものである。今回、モロベ州漁業局施設及びNFCを対象にしており、周辺水域の水産資源に対する負荷を大きくするなどの影響を与えるものではない。

5. その他（プロジェクト関連予算、土地、施設等受け入れ態勢は決められたとおりに実行されたか等）

特になし。

◆ 効率性

1. 事業費及び実施期間

先方政府負担の工事が長引いた影響で専門家の巡回指導期間も延長になったことにより事業費及び実施期間ともに計画を超過した。（予算及び実施期間の計画対比：事業費 108%、実施期間 131%）

2. 資機材、施設、専門家はタイミングよく投入され、期待された機能、能力を発揮していたか

パプアニューギニア側が実施する魚市場建屋の建設が遅れた影響により、事業の実施がずれ込んだため、モロベ州魚市場の製氷機の修理が予定より3週間遅れ3月となった。専門家の予定はこれに合わせてタイミングよく変更された。

3. 移転技術はカウンターパートの習得水準に適合していたか

移転技術は、専門家が事前調査においてカウンターパートの技術水準を見極めた上で指導内容を検討しており、実施に当たっては適切な指導が行われたことから、カウンターパートの水準に適合していた。

4. 状況の変化、教訓・提言等に応じて実施計画、活動項目は、適宜見直されていたか

上述のとおり、パプアニューギニア側の事情により専門家の派遣は3月に変更された。

5. その他（プロジェクトの効率性に影響を与えたと考えられる貢献・阻害要因等）

特になし。

◆ 有効性

1. プロジェクト目標の達成度

1) プロジェクト目標の達成度

プロジェクト目標：

- (1) モロベ州における水産関連施設の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術の向上

計画どおり水産関連施設の機能が回復し、また、必要な技術移転が行われ、技術

指導によるカウンターパートの基礎知識及び技術レベルは益々向上したことからプロジェクトの目標は達成された。

(2) NFC における教育用水産関連施設の維持・管理に係る技術の向上

NFC のカウンターパートに対し、教育用製氷機の運転、整備に関して助言を行い、カウンターパートの基礎知識及び技術レベルは向上したことから、プロジェクトの目標は達成された。



【NFC 製氷施設：カウンターパートへの冷媒ガスの充填方法指導】

2) その他（プロジェクト目標の達成度と外部要因との関係等）

特になし。

2. プロジェクト活動項目及び期待された成果の達成度

(1) モロベ州漁業局施設の修理・修復及び技術指導

施設の修理・修復を行い、カウンターパート及び製氷機のオペレーターに修理・修復に関する技術指導を行ったことにより、技術レベルが向上し、施設の稼働が円滑になった。



【モロベ州漁業局施設：カウンターパートからオペレーターへの配電盤の電圧確認の指導】

(2) NFC 教育用製氷施設の維持・管理に関する技術指導

NFC のカウンターパートに対し、教育用製氷機シミュレーターの運転、整備に関して助言を行い、カウンターパートの基礎知識及び技術レベルは向上し、施設の管理能力が高まった。

◆ インパクト

1. プロジェクト上位目標の達成に対し、プロジェクト目標の達成の効果はどの程度見込まれるか

本プロジェクトの実施により、モロベ州製氷施設の修理・修復に関する技術が向上するとともに施設が改善され、NFC 製氷施設の管理能力が高まったことから、プロジェクト目標は達成された。今後、製氷施設が順調に稼働すれば、上位目標である「パプアニューギニアにおける漁業生産性が向上し、小規模漁業が発展する」の達成に一定の効果が及ぶことが見込まれる。

2. プロジェクトは相手国・対象地域の政策形成、社会・経済等でどのような直接的・間接的な効果または負の影響が見込まれるか

本プロジェクトの実施により、製氷施設が稼働し、周辺漁民に氷が円滑に供給されるようになった。今後、同施設が順調に稼働すれば、鮮度の良い漁獲物が流通することになり魚価が上がり、漁民の所得が向上することから、対象地域の経済に対する直接的な効果が見込まれる。また、氷は地域住民にも供給されることから、民生向上に寄与し、対象地域の社会・経済に対する直接的な効果が見込まれる。

3. その他(ターゲットグループに対するインパクトやプロジェクトの計画当初予見できなかった効果または負の影響が見込まれるか等)

特になし。

◆ 持続性

1. プロジェクト終了後もカウンターパート及び供与された資機材は有効に活用されるか

カウンターパートはNFA、NFC並びにモロベ州漁業局の職員であり、夫々の立場で今後も本施設を引き続き担当する予定である。供与された資機材は、製氷施設の稼働及び運営・管理に必要なものであり、プロジェクトを通じてカウンターパートに適切に技術移転されたことから、プロジェクト終了後も有効に利用される。



【資機材の所有権移転書に署名】

2. プロジェクト終了後も効果は持続される見込みか

本プロジェクトにより施設の機能が強化され、継続的な活動を可能にする人的・物的環境が整備された。また、パプアニューギニア政府は、「事業計画書(NFA Corporation Plan 2014-2018)」において、沿岸漁業の開発による経済強化、市場へのアクセスや輸送手段の確保等を通じた小規模漁業の持続的な発展を重要な施策の一つとしており、魚市場の継続的運用が同国の沿岸漁業振興に不可欠であることを認識している。従って、本

プロジェクト終了後も、この結果は持続的に発揮される見込みである。

3. その他（持続性に影響を与えると考えられる貢献・阻害要因等）
特になし。

以上